



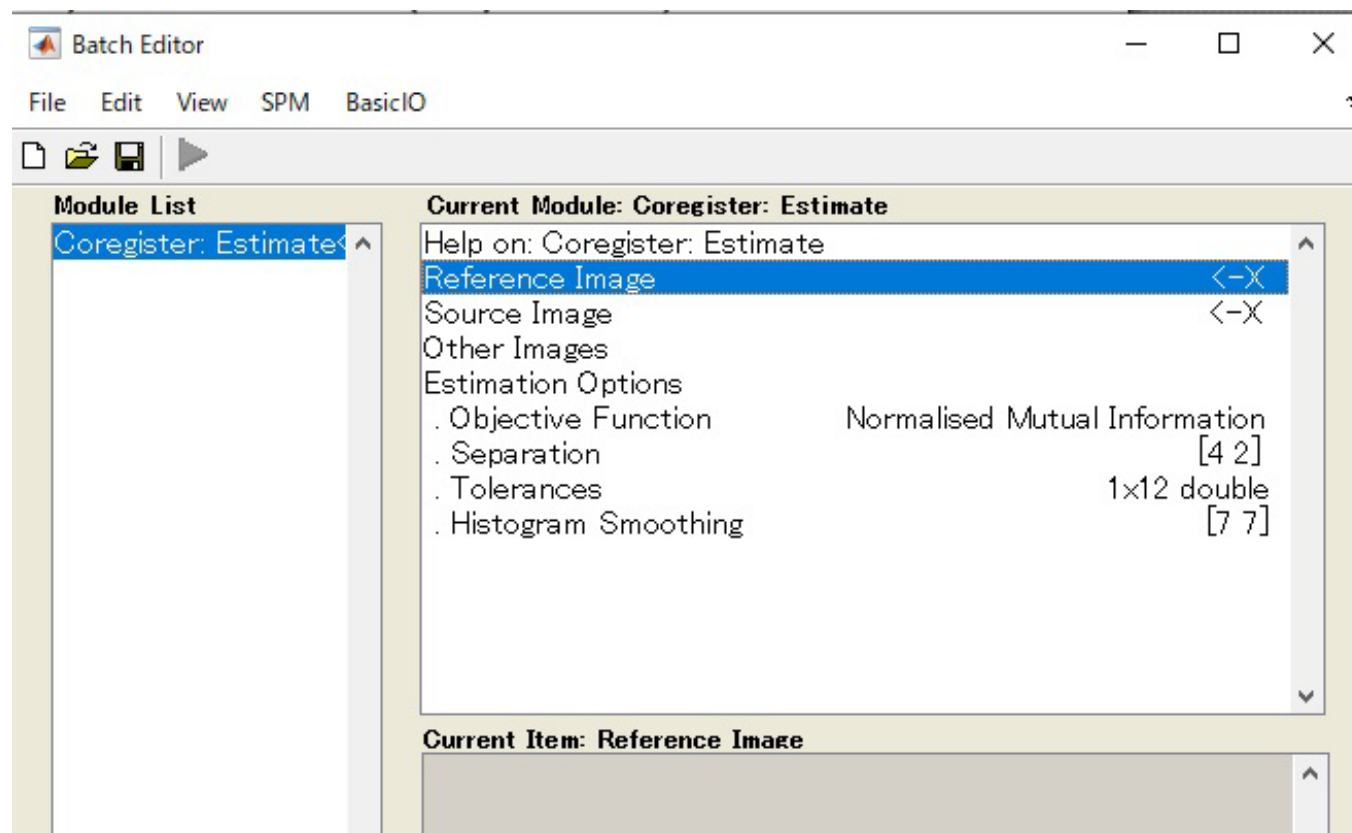
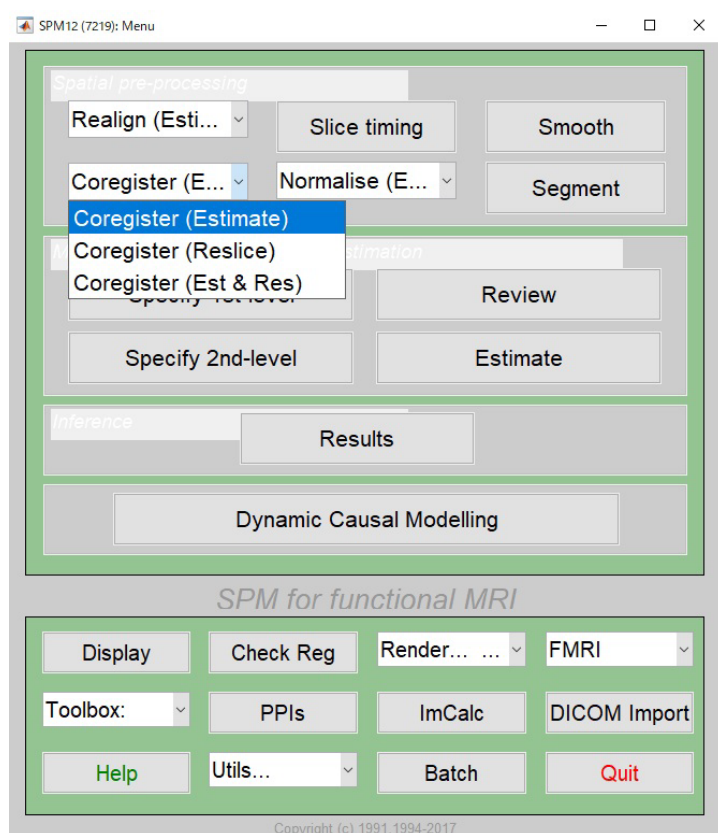
Coregistration

機能画像は解像度が低く、溝などの解剖学的構造が不明瞭

あとで集団解析を行うためには、解剖学的構造（＝構造画像）を用いて標準化を行う必要がある

そのため機能画像と構造画像の位置合わせを行う

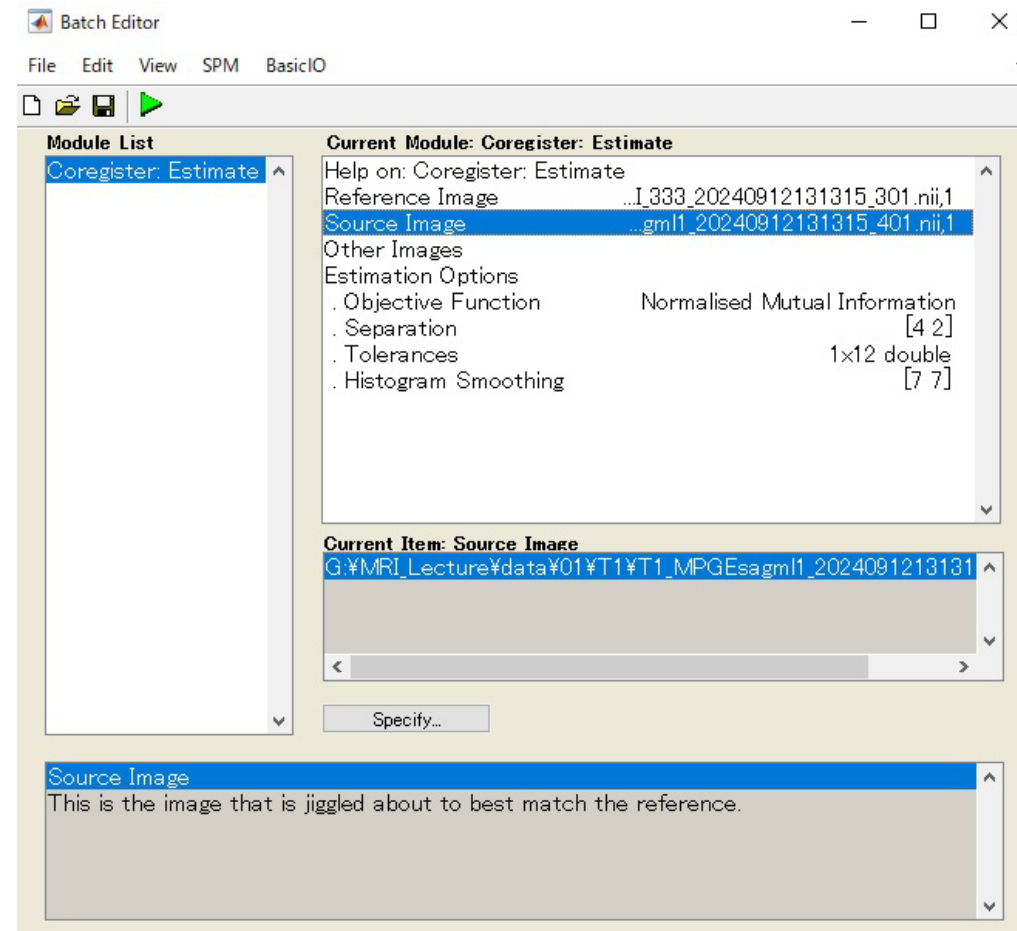
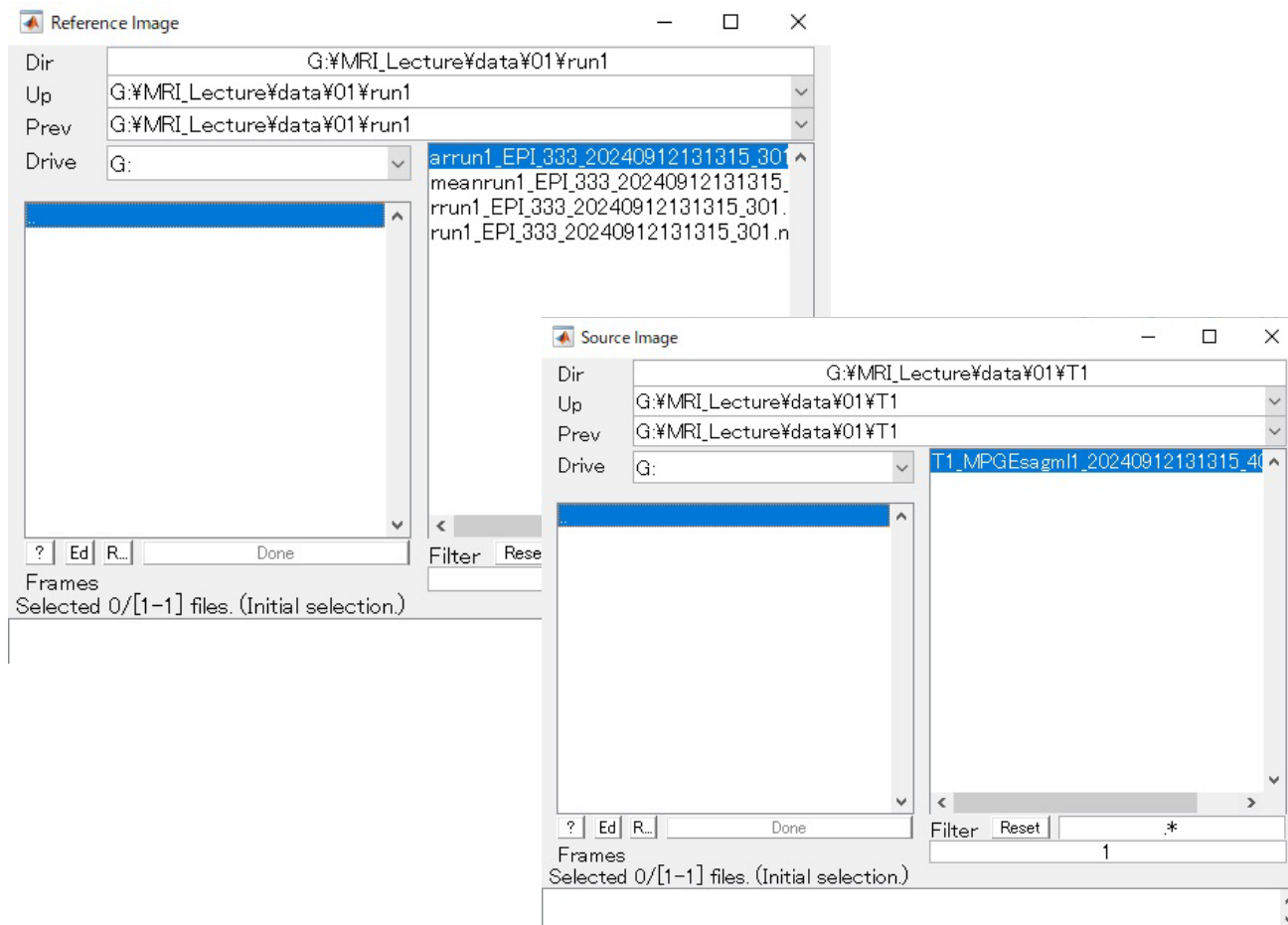
Coregister (Estimate)を選択してBatch Editorを立ち上げる



Reference Imageに処理したいparticipant（今回は01）のrun1のarがつくnii, 1を選択

Source Imageに01の構造画像（T1フォルダにあるnii）を選択

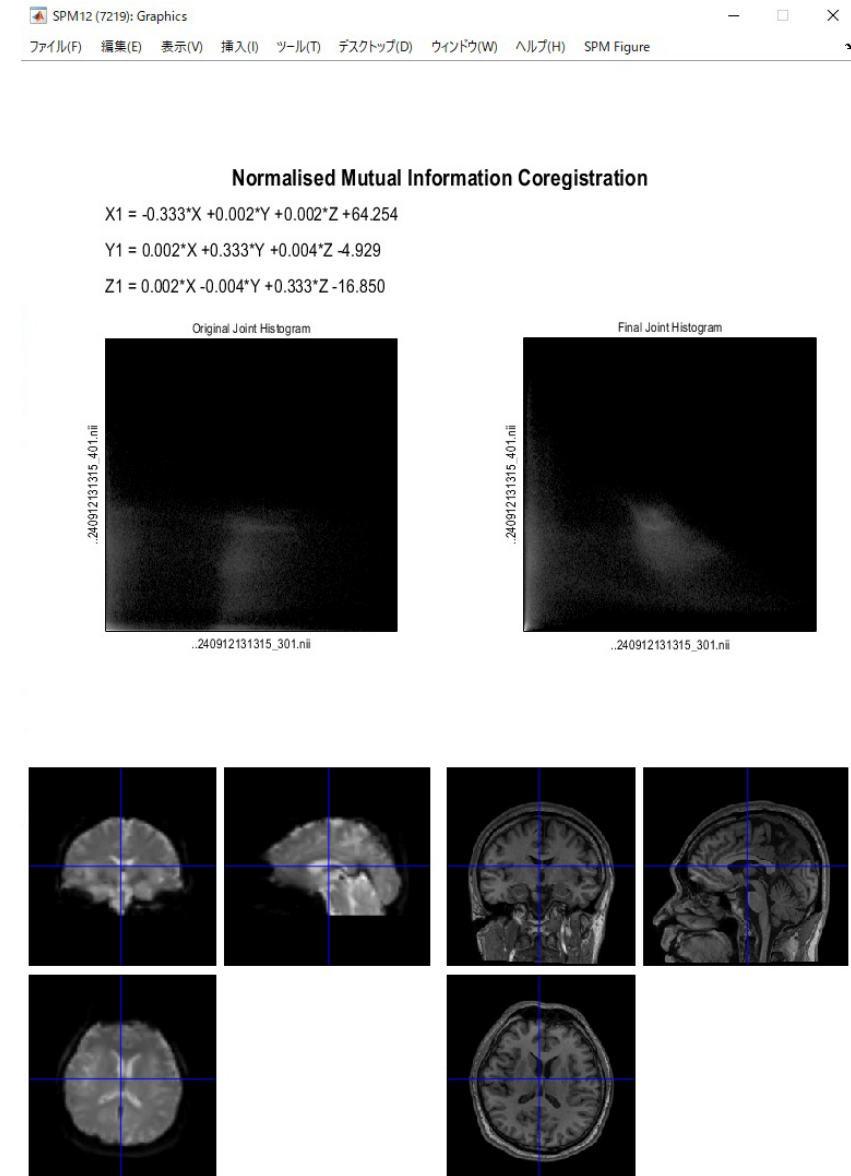
実行



MATLABコマンドウィンドウにDoneと出るまで待つ

Graphicsに機能画像(左)と構造画像(右)が表示される

青十字は動かせるので、2つの画像の位置がおおよそ揃っているか確認してみよう



問い合わせ

CogNAC事務局
cognac-office@grp.tohoku.ac.jp

作成・編集

応用認知神経科学センター・助教 田邊 亜澄
応用認知神経科学センター・学術研究員 大方 翔貴
応用認知神経科学センター・助教 DING Yi

